

「みちづくしin竹田2023」参加報告

令和5年10月27日～28日の2日間、大分県竹田市のグランツたけたにて開催された「みちづくしin竹田2023」には、道守かごしま会議の会員と行政職員の計32名が参加しました。

令和6年2月に道守九州会議は、20周年を迎えます。

私たちは、なぜ道守をつづけるのか、道守発足20年を迎えるいま、道守のこれまで、これからを問うというテーマで開催され、九州各県の会員のみならず竹田市民の参加もあり約450名が会場に集いました。



交流会

幼稚園児とは思えない迫力のあるちびっこ太鼓で始まり、菅生小学校の大会宣言で締めくくられました。



道守功労者表彰

交流会ハイライトその1です。交流会では道守功労者表彰の感謝状贈呈が行われました。道守かごしま会議からは、札元商工親睦会の西之園実秋さんが表彰されました！おめでとうございます🎉



シンポジウム

交流会ハイライトその2です。シンポジウムセッション3「これから～つながる・ひろがる～」に、田島代表世話人が登壇しました。



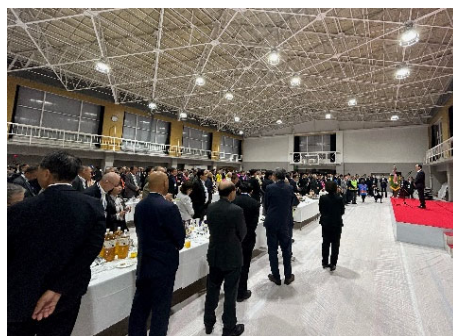
交流集会

交流会が終わると、隣接する竹田市体育センターに場所を移して交流集会が行われました。

次回開催地代表として、田島代表世話人、鹿屋市武井部長、竹下事務所長が登壇し、大会旗を受け取りました。



大会旗授与



次回開催地 代表挨拶



今年の主役西之園さんからのお知らせ
「バラ取りに来てね～」



売り子として事務局に協力いただいた方々
あれ？竹田市長がなぜか輪の中に。



道守屋台は鹿屋のバラで華やか



参加者全員でアピールしました。